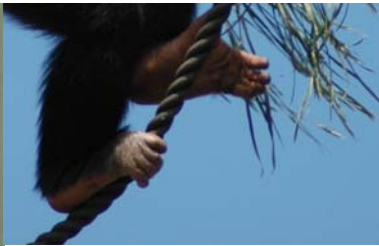


こんにちは。円山動物園の「幅崎」です。いぜん「レディ」ちゃんの人工保育の様子を伝えましたが、将来戻るはずの群れ(トニー群)は、どのような生活をしているのでしょうか。今回は、チンパンジーの行動の一部について紹介します。

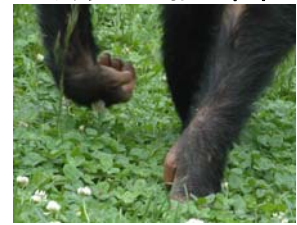
赤道直下の熱帯雨林に生息するチンパンジーは、餌を探して広い範囲を移動しながら樹上や地上で生活する霊長目で、大規模な開発で生息域が狭められ絶滅が危惧される動物の一種です。



まずは、ロープを伝う彼らの手足に注目してみます。手は四指に向かい合っている親指が短いのであまり器用ではありませんが(とはいえ樹の中の蜜を棒で上手に食べている)、長い四指で吊革につかまるとは、逆には親指が発達し手すりにつかまるとは、何となく理にかなっていると思いませんか。



次に地上を歩く様子ですが、指の外側をつく「ナックルウォーク」と呼ばれる歩き方です。他の霊長目とも比べてみてくださいね。



さて、次は眠るときです。野生ではより安全な樹の上の雌が高いところにベッドをつくっているようです。それにしても寝相はいろいろですね。この様子は、夕方の閉園間際になると観察できるのです。放送の「眠くて」と



いうのは本当だったのです。

そして、子育てですが母親にべったりと思いきや年上の子どもと一緒に遊んだりして生活の技や社会性を身につけます。ちょっと年長の「テス」は、群れの一員として一生懸命生きています。「レディ」も早く群れに戻れるとよいですね。



円山動物園のドキドキ体験



レディの授乳や夕食の様子などを見学できます。時間などは掲示板で確認しておきましょう。チンパ館にはキーパーの祐川さんと直接話ができる無線マイクも設置されています。みなさんの質問にも丁寧に答えてくれますよ。

この半年間、ネタのない日がない毎日でした。仕事の合間にカメラを持って取材、でもそのためには自分の仕事をきちんとこなしておかなければなりません。1日のスケジュールを考えて仕事をすすめるというのは、学校と全く同じです。どんな職場でも、計画的に仕事をするのが大切なんです。では、また。